

公明党の高木陽介政務調査会長は1日、衆院第2議員会館で記者会見し、今国会の焦点として少子化への対応・物価高対策と賃上げの実現・防衛力強化の内容と財源の確保——を挙げ、「この三つを中心に、国民生活を守り、安心と活力ある日本の未来を開く改革を前に進める国会にしていく」と訴えた。高木政調会長の発言は大要、次の通り。

記者会見で見解を述べる高木政調会長  
1月1日 衆院第2議員会館



国会論戦巡り高木政調会長

## 中小企業の賃上げへ 伴走型支援が重要

（焦点）一つ目は、想定を上回るスピードで進む少子化への対応だ。児童手当などの経済支援や多様な保育サービス、働き方改革、結婚支援など、与野党が危機感を持って対策の充実を訴えている。大事なことは、一つ一つ細切れの対策ではなく、結婚・妊娠・出産から子どもが社会に参入するまでの動向を注視しながら、必要に応じて機動的に対策を行っていく。賃上げについて、中小企業の

# 物価高対策、機動的に 防衛財源 政府は丁寧な説明重ねよ

## 子育て支援

# 政策体系確立を

賃上げが最大の課題であり、企業の実情に応じた最適な補助金や税制などの支援を伴走型で行っていくことが重要だ。

一、3点目は、防衛力強化の内容と財源の確保だ。厳しく複雑な日本の安全保障環境を踏まえ、一、3点目は、防衛力をきちんと説明し、必要な財源確保に向けて、歳出の徹底や決算剩余の支障を伴走型で行つていくことが重要だ。

今、必要な防衛力は何かをきちんと説明し、必要な財源確保に向けて、歳出の徹底や決算剩余の支障を伴走型で行つていくことが重要だ。

1月1日 衆院第2議員会館

賃上げが最大の課題であり、企業の実情に応じた最適な補助金や税制などの支援を伴走型で行つていくことが重要だ。

一、特に税制について、歳出の徹底や決算剩余の支障を伴走型で行つていくことが重要だ。

今、必要な防衛力は何かをきちんと説明し、必要な財源確保に向けて、歳出の徹底や決算剩余の支障を伴走型で行つていくことが重要だ。

1月1日 衆院第2議員会館